

講義名	19～企業会計入門/15～会計学入門		
担当教員	島田 奈美 / 孫 美咲 / 早川 翔 / 宋 栢 正利		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 2時限	授業形態	講義
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

本講義は、これから会計学を学ぶ学生はもちろんのこと、それ以外の分野に関心のある学生も対象に、会計分野の中でも専門が異なる複数の教員が会計に関するトピックスを紹介、解説を行う科目です。各講義では、新聞記事などの具体的な事例とそれを理解するための会計学の基本的な理論を組み合わせることで、会計が社会に与える影響や役割を実感するとともに、会計学に対する関心を高めることを目的としています。

到達目標

(1) 会計学とはどのような学問で、その中でもどのような分野が存在するかが理解できるようになる。
(2) 会計が社会でどのような役割を担っているのかが理解できるようになる。

提出課題

期末テストを実施しませんので、課題及びレポートによって評価します。教員によって毎回小テストを課したり、担当最終回にレポートを課したり様々ですので、各教員の指示に従ってください。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

教員により課題を出すタイミング、フィードバックの方法が異なりますので、各担当教員の初回の講義にはなるべく出席し、指示に従ってください。

評価の基準

評価の方法は各担当教員により異なりますが、課題提出または小テストが課せられます。4人の教員が1人あたり25点で採点し、その結果を総合して評価します。

履修にあたっての注意・助言他

・欠席率は、欠席した回の担当教員に直接添えてください。異なる教員に選んだ場合には無効になる可能性があります。
・同じ履修に複数クラスが開講されます。クラスを間違えて出席した場合には、その回に課されたテスト及び課題が評価されない可能性があります。間違えないように注意してください。

教科書	.使用しない。				

プリント資料及び参考文献

講義連絡で事前に、または講義時間中に配布しますが、各教員によって配布方法が異なるので確認してください。
<参考書>
天野之 〃カラー版 会計のことが面白いほどわかる本<会計の基本的な基本編>。 KADOKAWA/中経出版

授業計画

1. 本講義の位置づけ
2. 会計コース開講科目との関連
3. 会計学とは
4. 会計の役割
5. 会計の基礎的前提
6. 会計に関するルール
7. 会計基準とその国際化
8. 貸借対照表と損益計算書
9. その他の財務諸表
10. 財務会計と管理会計の違い
11. 管理会計とは
12. 原価計算とは
13. 財務会計とは
14. 国際会計とは
15. 全体のまとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：参考書および事前に配布された講義資料を熟読すること。（2時間）
復習：配布資料を熟読し、要点をまとめておくこと（2時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

達成目標を達成することにより、以下のDPの達成に必要な素養を身につけることができる。

1. 各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これをもとに、企業マネジメントに関する問題探索、課題提案ができる。
2. 簿記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、経営成績、キャッシュフロー等に関する情報を作成、分析することができる。
3. 企業の社会的役割を理解したうえで、修得した専門知識をもとに企業が直面する問題や企業の強みを発見し、経営戦略の構築に貢献することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

・複数クラスを開講しますので、シラバスの順番が前後する可能性があります。ご了承ください。
・本講義は対面授業ですが、新型コロナウイルス感染症の状況によりシラバスの修正をする可能性があります。